

目指すべき多様な価値観を認め合う大田原市の社会について



伊賀 純 議員

質問…LGBT(性的少数者)は、種の保存に抗うという報道がありました。LGBT、ジェンダーギャップ、男女共同参画など様々な課題がある市を引っ張っていく立場で、目指すべき社会をどう捉え、どう創り上げて行くのか市長の考えを伺います。

日常的に繰り返され人権侵害となる場合もある。私たちは常にこれまでの常識にとらわれることなく問題意識を持ち、差別をなくすために、一人一人の違いを認め合うことが大切であり、個性を最大限に発揮できる社会の実現を目指すことが必要であると認識しています。

割合と言われ、性の違和感を小学校高学年くらいから感じ始めるとお聞きするが、小中学校の教育の中で、どう扱われているのか、学習指導要領にはLGBTの記載などあるのか伺います。

答弁…記載はありません。各学校で差別のない望ましい人間関係確立のため、各教科の学習や人権教室等で指導しています。

一般質問



鈴木 隆 議員

コロナ禍における中小企業・小規模事業者の経済支援などについて

質問…コロナ禍により厳しい経営状況におかれている中小企業・小規模事業者への経済支援について伺います。

答弁…事業者支援については、本定例会で議決された一般会計補正予算(第3号)により、地方創生臨時交付金を活用した4つの支援策を実施します。1つ目は食事割引券の発行事業、2つ目は市内事業者が実施する新

型コロナウイルス感染防止対策に係る経費の補助事業です。3つ目は市の制度融資である小口資金、特別小口零細企業資金、中小企業緊急小口資金のうち、令和2年度の申請者を対象に、3年間の利子補給を実施します。4つ目は令和2年度に新設した中小企業緊急小口資金制度を引き続き令和3年度も実施します。中小企業緊急小口資金は、低金

利、2年間の据置き期間の設定、信用保証料の全額補助など中小企業の資金繰りを支援するため、の使いやすい制度となっています。

質問…第三者認証制度(とちまの安心認証)との連携による安心な飲食サービス提供の促進について伺います。

答弁…本市としては、認証の進捗状況を確認してまいります。